

薬事委員会記録

日 時：2021年6月3日(木) 16時00分

場 所：医学部1階 小会議室

出席者：鈴木、白上、金森、諏訪、吉倉、浅野、早崎、岩井、澤田、西堀、周、飯沼、大井、堀、加藤、武内、安藤(知)、吉田(明)、中村、吉田(省)、安田(満)、大野、境、酒々井、塚田、佐野、早野、畠山、岡田、安田(浩)、飯原、小林、小森

委任状提出：坂井、江頭、田辺、青木、清水

欠席者：奥村、出田、長瀬、堀川、二村、笹井

記録の承認

2021年3月4日開催の薬事委員会の記録が承認された。

議 題

1. 医薬品の採用品目数について

現在の採用品目数と本会終了後の採用品目数について確認した。

2. 医薬品の採用について

1品目(キンダリー透析剤 AF5 号)の採用を承認した。

3. 医薬品の継続試用について

5品目(オンジェンティス錠 25mg、ダーブロック錠 2mg、デエビゴ錠 5mg、PA・ヨード点眼・洗顔液、ルムジェブ注ミリオペン HD)の継続試用を承認した。

4. 医薬品の新規試用について

4品目(エムガルティ皮下注 120mg オートインジェクター、ケフレックスカプセル 250mg、フォシーガ錠 10mg、ベオビュ硝子体内注射用キット 120mg/mL)について、申請診療科および薬剤部より説明され、新規試用の承認可否の投票を実施した結果に基づき、全て承認した。

5. 緊急購入医薬品からの採用について

1品目(ニトプロ持続静注液 6mg)について報告し、緊急購入医薬品からの採用の承認可否の投票を実施した結果に基づき、承認した。

6. 医薬品の採用中止について

4品目(イクスタンジ錠 40mg、クアゼパム錠 15mg「MNP」、ノイエルカプセル 200mg、アルチバ静注用 2mg、イオパミロン注 300 100mL、同 370 20mL、同 370 100mL、ファーストシン静注用 1g)の採用中止を承認した。

7. 供給停止後発品の対応について

①医薬品の採用変更について

小林化工等の後発品の供給停止に伴い、13品目(インデラル錠 10mg、エピナスチン塩酸塩錠 20mg「テバ」、ガスロン N 錠 2mg、ジルチアゼム塩酸塩錠 30mg「トーワ」、タガメット錠 200mg、テプレノンカプセル 50mg「YD」、テモダールカプセル 20mg、同 100mg、ニコランジル錠 5mg「トーワ」、ビスルボン錠 4mg、ベザフィブラート徐放錠 200mg「トーワ」、メリスロン錠 6mg(先発品)、モサプリドクエン酸塩錠 5mg「ケミファ」)の採用変更を報告した。

8. 薬事委員会 WG での決定事項

①院外医薬品の院外採用について

18品目(イーフェンバッカル錠 50 μ g、イーフェンバッカル錠 100 μ g、クラシエ桂枝加芍薬湯エキス錠、クラシエ四物湯エキス錠、タクロリムス錠 1.5mg「トーワ」、タクロリムス

錠 2mg「トーワ」、ツートラム錠 50mg、ユリス錠 1mg、プリビナ点眼液 0.5mg/mL) の院外採用を報告した。

②院外医薬品の院外採用中止について

12 品目 (アセトアミノフェン「JG」原末、ウラリットーU 配合散、オパイリン錠 125mg、ソレトン錠 80mg、タクロリムス錠 3mg「あゆみ」、幼児用 PL 配合顆粒) の院外採用中止を報告した。

③院内医薬品の緊急購入登録について

15 品目 (エドルミズ錠 50mg、クラシエ桂枝加芍薬湯エキス錠、クラシエ四物湯エキス錠、メラトベル顆粒小児用 0.2%、リベルサス錠 3mg、同 7mg、同 14mg、リンヴォック錠 15mg、プリビナ点眼液 0.5mg/mL、チラーヂン S 静注液 200 μ g) の緊急購入の登録を報告した。

9. 医薬品の販売中止について

6 品目 (アダラート L 錠 10mg、同 20mg、オステン錠 200mg、ラニチジン錠 75mg「マイラン」、同 150mg、スクエアキッズ皮下注シリンジ) の販売中止を報告した。

10. 医薬品の販売中止に伴う製剤変更について

1 品目 (スマトリブタン錠 50mg「アスペン」) の販売中止に伴う製剤変更を報告した。

11. 後発医薬品への切り替えについて

医薬品購入額削減と診療報酬額増加を目的として、後発品への更なる切り替えを進めることを説明し、15 品目の後発品への切り替えを報告した。

12. フェンタニル経皮吸収型製剤の慢性疼痛における運用について

2020 年 12 月に承認されたオキシコンチン TR 錠の慢性疼痛の運用に合わせ、他のフェンタニル経皮吸収型製剤についても同様の運用を行うことを報告した。

13. フォーミュラリーの運用について

プロトンポンプインヒビターについて、ランソプラゾール OD 錠 15mg「トーワ」・同 30mg、ラベプラゾール Na 塩錠 10mg「明治」を推奨薬とした院内ルールおよびフローチャートを提案した。本ルールに従って医薬品を使用した場合、最大で 1350 万円/年の医薬品費削減効果が得られることを説明し、承認された。

14. 薬剤師による処方代行オーダープロトコル運用について

医師の負担軽減、業務効率化および薬物療法の安全確保の観点より、プロトコルに基づく薬物治療管理 (PBPM) として、薬剤師の処方代行オーダーについて 3 点の追加を説明し、承認された。

次回薬事委員会の開催日時は、2021 年 9 月 2 日 (木) とした。